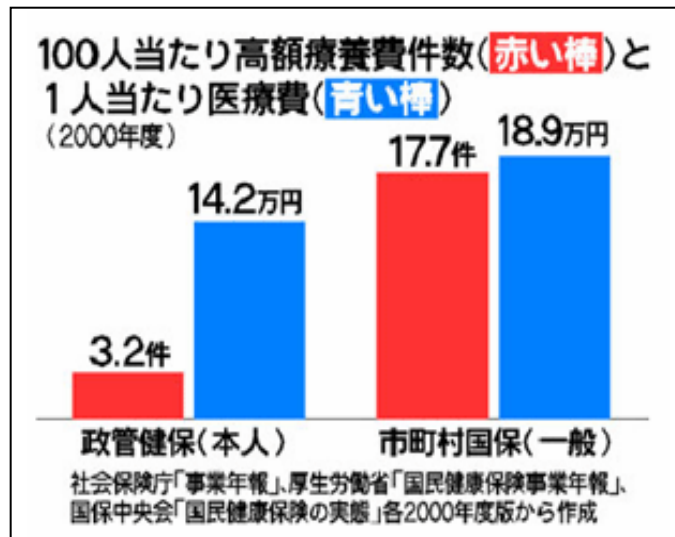


健康保険本人負担3割、「垣老」の67歳引き上げを凍結せよ！

重症化招く3割

日本共産党の志位委員長は12日の党首討論で、すでに実施されている国民健康保険の3割負担で35万人(厚生労働省調査)の患者が受診抑制し、その結果、病気が重症化していることを明らかにしました。

100人あたりの高額療養費件数は、3割負担になっている市町国保は17.7件ですが、2割負担の政管健保(本人)は3.2件で、市町村国保は政管健保(本人)の5.6倍になっています。



日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会の4師会は、2月12日に26県で「医療費自己負担凍結」を求めて街頭宣伝行動をおこないました。また、日本共産党、民主党、自由党、社民党の野党4党は「凍結法案」を提出しました。



負担増凍結を求める請願書

「西濃社会保障推進協議会」は大垣市議会3月議会に「誰でも安心して良い医療をうけられるための請願書」(健康保険3割負担凍結)「大垣市老人医療費助成67歳への引き上げ実施凍結を求める請願書」「介護保険の国庫負担増を求める請願書」(国庫負担を30%にひきあげることを)を提出しました。

これらの請願書には日本共産党の杉原幸子議員が紹介議員になっています。3月議会は3月3日から3月26日まで開かれます。請願書が審議される委員会の傍聴もできます。議会の日程が決まりましたらお知らせします。委員会、議会を傍聴して、なれあい議会をなくしましょう。